

# どんぐりで遊ぼう

担当：植物研究室

## 1 内容

どんぐりの観察を通していろいろな種類があることに気付くとともに、そのつくりと自然の仕組みについて考える。また、どんぐりを使った遊びを通して自然を愛する心情を育てる。

### 【どんぐりの種類について】

- ・クヌギ・・・雑木林を代表する落葉高木。以前は薪として利用されていた。切り株からは、新しい枝ができて、また生長する。実は堅く、殻斗がそりかえる。花が咲いた次の年の秋に実が熟す。
- ・コナラ・・・クヌギと並んで、雑木林を代表する落葉高木。以前はクヌギと同じように利用されていた。実は堅く、殻斗はうろこ状の模様がびっしりと並んでいる。春に花が咲き、その年の秋に実を熟す。
- ・シラカシ・・・山地に生育する常緑高木。アカガシに比べて材の色が淡いのでシラカシと呼ばれた。実は堅く、長さは1.5cmほどの卵形。殻斗には同心円状の模様が並んでいるのが特徴である。
- ・マテバシイ・・・日本各地に植栽されている常緑高木。公園樹や街路樹などに利用されている。実は堅く、長楕円形。からの外側はうろこ状の模様がびっしりと並んでいる。花が咲いた次の年の秋に実が熟す。

## 2 準備物

どんぐり（マテバシイ、アベマキ、クヌギなど）、キリ（または千枚通し）、つまようじ数本（くぎなども可）、ウレタンマット

## 3 手順

### （1）どんぐりでおもちゃづくり

- ①キリでどんぐりに穴をあける。  
※真ん中にまっすぐさすことがポイント。
- ②つまようじを穴にさす。  
※余分なようじを切ってできあがり。



キリで穴をあける



つまようじを穴にさす



余分なようじを切る

### （2）どんぐりのふえづくり

- ①キリでどんぐりの中心に穴をあける。  
※穴を少し大きめにあけるとよい。  
※どんぐりのおしりをやすりなどで削ると作業がしやすい。
- ②穴をあけながら中身を粉々にする。  
※強くやり過ぎるとどんぐりがわるるので注意。
- ③中身をつまようじでくわいて出す。  
※中身をきれいにし出すといい音が出る。



キリで穴をあける



中身を出す

## 4 注意点

- ・コマやふえは大型のどんぐりを使うとつくりやすい。
- ・ふえづくりでは、穴を事前にドリルであけておくと作業時間の短縮につながる。
- ・キリ、千枚通しなどを使うのでけがに気をつける。

## 5 参考資料

タネはふしぎだね。ミュージアムパーク茨城県自然博物館。

どんぐりハンドブック。文一総合出版。いわさゆうこ（著）、八田 洋章（監修）。

樹に咲く花 離弁花①。山と溪谷社。茂木 透（著）、勝山輝男（著）、太田 和夫（著）、崎尾 均（著）、その他。